

日本原子力学会 核燃料部会  
平成 27 年度第二回運営小委員会議事録

日時 : 平成 27 年 9 月 11 日 (金) 10:00~12:00

場所 : 静岡大学静岡キャンパス 理学部 B 棟 B211 会議室

出席者 : (委員以下は 50 音順)

湊部会長、山中副部会長、平井副部会長、池田委員、宇埜委員、  
逢坂委員 (JAEA)、尾形委員、亀田代理、草ヶ谷委員、小崎委員、  
坂井代理、佐藤委員、高木委員、野田委員、巻上 (記)

議事

1. 前回運営小委員会議事録の確認

巻上庶務幹事から、資料 1 により、前回 (平成 27 年度第一回) 運営小委員会議事録が提示された。コメント反映済みであり、説明は省略した。

2. 平成 27 年度予算の支出予想について

巻上庶務幹事から、資料 2 により、平成 27 年度予算の収支見通しが報告された。ANFC2014 の収支確定に伴い、寄付金収入が今後発生する見通しであることも報告された。

3. 平成 26 年度核燃料部会活動報告

平井副部会長から、資料 3 により、部会等運営委員会の状況などが報告された。主な内容は以下の通り。

- ・ 学生表彰制度を企画するよう、今後各部会に依頼がある見通し
- ・ 2016 年春の年会からは、ウェブ上でプログラム作成を行う「Confit」システムの導入により、企画セッションの提案締切が遅くなる
- ・ 規定類の体裁整理を、直近で開催する全体会議 (核燃料部会の場合は、平成 28 年 3 月予定) で行うよう依頼があった

4. 平成 27 年度夏期セミナーの開催報告

草ヶ谷委員 (平成 27 年度夏期セミナー幹事) から、資料 4 により、夏期セミナーの結果概要が報告された。今後のセミナー運営について議論を行い、学生の参加を促進する方策として、夏期休暇や就職活動などを考慮したセミナー時期の設定、ポスターセッションにおける表彰の充実などの意見があげられた。

## 5. 平成 28 年度夏期セミナーの準備状況

坂井代理（平成 28 年度夏期セミナー幹事代理）から、資料 5 により、夏期セミナーの準備状況が報告された。開催時期としては、平成 28 年 7 月 4 日の週が第一候補として示された。会場手配を進めるため、コメントがある場合には、9 月 18 日（金）までに夏期セミナー幹事と庶務幹事に連絡することとなった。

セミナーの開催時期に関しては、夏期休暇期間中には会場の確保が難しいこと、大学間でもスケジュールは異なること、他の季節に開催するためにはそれに応じた準備開始が必要であることなどが指摘され、翌年度以降に向けた課題として意識していくべきことが確認された。

## 6. 核燃料部会賞についての検討状況

池田国内企画幹事から、資料 6 により、若手を対象とした部会賞の活性化などを目的とした部会賞実施要領の改定案（選考対象期間「過去 3 年間に公表」の撤廃、選考対象への「春の年会・秋の大会で口頭発表」の追加など）が説明された。本年度の選考に反映するためには、9 月中の要領改定が必要であり、部会員によるメール審議を実施する予定。

## 7. 核燃料部会報の状況

巻上庶務幹事から、資料 7 により、核燃料部会報（No. 51-1）の進捗状況が報告された。国際会議に関して、本年 9 月開催の Topfuel 2015、Global 2015 と共に、本年 10 月上旬開催予定のアジアジルコニウム会議の報告も可能かどうか、庶務幹事から見通しを問い合わせることとなった。

## 8. その他

### （1）軽水炉燃料等の安全高度化ロードマップ検討 WG の活動状況について

平井副部長から、資料 8 により、本年 6 月に WG の第 1 回全体会議が開催され、4 つのグループで検討が開始されている状況が報告された。

### （2）核燃料部会のポジションステートメントについて

現状、ポジションステートメントのサンプル準備には至っていないことを確認の上、核燃料部会としてやるべきことが本当に行われているかどうかを議論していく必要性が、部会長から改めて提起された。核燃料に関連する課題については、ロードマップ検討 WG でも検討が開始されたところであり、その進捗なども踏まえ、次回以降の運営小委と企画小委で検討を継続していくことを確認した。

(3) 第三回運営小委員会について

平成 27 年度第三回運営小委は、平成 27 年 11 月 17 日（火）午後、日本原子力学会事務局会議室で開催する。

以上